

平成 21 年度研究連絡会議議題等一覧

回数 開催月日	議題等	内容等
第 83 回 4 月 24 日	(1)平成21年度調査・研究課題について	・平成 21 年度の調査・研究課題 (①国立公文書館所蔵資料による特定重要テーマ、②展示会開催のための所蔵資料の調査研究、③「書物方日記」の年代記の作成 (4 年計画の 2 年目)、④当館所蔵の漢籍の宋版及び元版の解題 (4 年計画の 2 年目)、⑤新公開制度の施行に向けた利用規則の改正について (新規)、⑥既存目録の検索手段の充実及び見直し) について、それぞれ各課題を担当する専門官・研究官が説明した。
	(2)つくば分館における平成21年夏の企画展について	・つくば分館の平成 21 年夏の企画展は、「学びの系譜」と題し、開催期間は 7 月 21 日～8 月 31 日とすることとした。
	(3)米国アジア研究学会 (AAS) 年次総会について	・米国アジア研究学会 (AAS) の下部組織である CEAL (全米東アジア図書館協議会) のシカゴ大会について、出席した調査員が報告した。
	(4)平成 21 年度研究連絡会議開催予定 (案) について	・平成 21 年度の研究連絡会議の開催予定について報告を行い、了承された。
第 84 回 5 月 15 日	(1)『北の丸』掲載予定論文について	・『北の丸』第 42 号の構成 (①御書物方年代記、②『内閣文庫漢籍分類目録』別名・字号索引、③内閣文庫所蔵資料の紹介、④養成課程修了論文、⑤林野庁移管資料の紹介、⑥財務省移管「昭和財政史資料」の紹介) につき、執筆担当者が各自趣旨を説明した。
	(2)新制度下における移管基準等策定に向けた検討状況	・レコードスケジュール研究グループにおける検討について担当専門官が説明した。 ・新制度下の移管基準策定に向けての検討状況につき担当専門官が説明した。
	(3)その他 (研究連絡会議開催予定の変更)	・次回の研究連絡会議は片山善博氏 (慶應義塾大学教授・前鳥取県知事) の講演とし、日程については 6 月 26 日に変更となったことを報告した。
第 85 回 6 月 26 日	外部講師による講演	・片山善博氏 (慶應義塾大学教授・前鳥取県知事) が「具体的事例から見た公文書管理の意義」と題して講演した。
第 86 回 7 月 17 日	(1)平成 21 年度全国公文書館長会議等の報告	・全国公文書館長会議および「国際アーカイブズの日」記念講演会の概要 (①「国際アーカイブズの日」記念講演会議事次第、②平成 21 年度全国公文書館長会議議事次第、③全国の公文書館等

回数 開催月日	議題等	内容等
	(2)「公文書等の管理に関する法律」について	<p>におけるデジタルアーカイブ・システムの標準仕様書) について担当課長補佐が報告した。</p> <p>・公文書等の管理に関する法律の要点や今後取り組むべき課題について担当専門官が講義した。</p>
第 87 回 9 月 11 日	(1)平成 22 年春の特別展について	<p>・平成 21 年春の特別展のテーマについて担当の専門官より複数の提案があった。適宜質疑応答がなされた後、旗本御家人Ⅱを仮題とすることが了承された。</p>
	(2)専門職員養成課程について	<p>・今年度を実施する専門職員養成課程において、講座を担当するそれぞれの専門官等（館長、参与、理事、専門官、研究官）が、講義の日程や概要、内容について説明した。</p>
	(3)つくば分館夏の企画展「学びの系譜」の結果報告	<p>・今年度のつくば分館における夏の企画展について、概要（広報手段も含む）と成果（来館者数）等を担当専門官が報告した。</p>
	(4)新制度下の移管基準策定に向けての検討状況	<p>・新制度下の移管基準策定に向けての検討状況について担当専門官が報告した。</p>
第 88 回 10 月 16 日	(1)外部講師による講演	<p>・アムステルダム大学名誉教授、元オランダ国立文書館長のエリック・ケテラール教授が「Archives 2.0 and beyond」と題して講演した。</p> <p>・講演終了後、米国とオランダとを比較した文書管理専門家の人材育成、利用者のリテラシー向上への取り組み等について質疑応答が行われた。</p>
	(2)次回研究連絡会議の開催予定について	<p>・外部講師による講演（内閣官房公文書管理検討室 岡本参事官）を行うことが提案され、了承された。</p>
第 89 回 10 月 23 日	外部講師による講演	<p>・内閣官房公文書管理検討室の岡本信一参事官が「米国の情報開示とアーカイブズの新展開～開かれた政府と透明性の確保を目指して～」と題して講演した。</p> <p>・講演終了後、米国オバマ政権の開かれた政府（Open Government）新時代、米国国立公文書記録管理庁（NARA）を始め現場の実態と問題点について、質疑応答がなされた。</p>

回数 開催月日	議題等	内容等
第90回 11月27日	(1)調査研究課題の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究課題（①特定テーマ調査研究の進捗状況、②展示会開催のための所蔵資料の調査研究（平成22年春の特別展）、③「書物方日記」の年代記の作成、④当館所蔵の漢籍の宋版及び元版の解題、⑤新公開制度の施行に向けた利用規則等の改正、⑥既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、担当の専門官等が報告した。
	(2)平成22年つくば分館夏の企画展について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年つくば分館夏の企画展「気象」の企画案を担当専門官が報告した。
	(3)EASTICA総会及びセミナー参加の報告について	<ul style="list-style-type: none"> ・EASTICA総会及びセミナー（中国青島市）に参加した担当専門官・研究員が、総会における2009年度の活動報告及び会計報告、四川省地震を例に危機管理における記録をテーマとするセミナーでの討論などについて報告した。
第91回 12月18日	(1)移管事務の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・移管事務状況の全体的な概要について、担当専門官が説明した。 ・評価・選別に関し、現在検討している新たな移管基準について、担当専門官が説明した。 ・各省の移管状況に関して、各担当専門官・専門員が説明した。
	(2)第41回国際公文書館円卓会議(CITRA)参加報告	<ul style="list-style-type: none"> ・第41回国際公文書館円卓会議(CITRA)について、担当専門官が報告した。
第92回 1月15日	(1)平成22年春の特別展について	<ul style="list-style-type: none"> ・担当専門官が展示資料内容を報告した。
	(2)平成22年以降の展示会テーマ案について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度春の展示会は40周年記念展、秋に内閣文庫系の「罪と罰」展を開催することを担当研究官が報告した。 ・平成22年秋の特別展は「発明と産業の歴史」で進める方向を担当研究官が提案し、了承された。
	(3)平成22年夏の企画展について	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「公文書で見る『夏の風物詩』」の内容について担当専門官が報告した。
第93回 2月19日	外部講師による講演	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県総務部行政経営企画課の小原康弘企画監が「福岡県における公文書館整備の取組について一県と市町村の共同の観点から」と題し、公文書管理法から見た福岡県文書管理規定等の課題、福岡県における公文書館整備の取組について、その経緯と今後の予定について講演した。

回数 開催月日	議題等	内容等
第94回 3月19日	(1)平成21年度調査研究課題の進捗状況について(本年度の総括)	<p>・調査研究課題の進捗状況(①展示会開催のための所蔵資料の調査研究:平成22年の常設展及び秋の特別展、②「書物方日記」の年代記の作成(4年計画の2年目)③当館所蔵の漢籍(宋版及び元版)の解題(4年計画の2年目)、④既存目録の検索手段の充実及び見直し、⑤新法の施行に向けた公開基準の見直し)について各担当専門官等が報告した。</p>
	(2)台湾出張について	<p>・アジア歴史資料センターの広報、台湾における公文書関連機関との交流及び現状調査を目的として出張し、その出張概要について担当専門官が報告した。</p>